

## 4-①. 大阪NPOプラザ運営事業

— 総合的なNPO支援機能の充実と安定運営を目指す

大阪NPOプラザの管理運営を始めて、10年目を迎えた今年は、運営の最終年度の予定であったが、大家・大阪府として1年間延長（2013年3月末迄）を2011年9月末に決定した。

しかし、長らく2012年度以降の見通しが立たなかったこともあり、新しい活動拠点を求めて早めに退出する団体や、数ヶ月しか利用できないかもしれない拠点に新たに入居利用しようとする団体は少なく、空き事務所・ブースが目立ちつつある。最終年度は、更に収入の減少を見据えた運営が必要となってくる。

### 1. 大阪NPOプラザを構成する入居、ブース利用団体

1階NPO多機能ブーススペースは、2011年度に新たに1団体が利用を開始した。その他に「NPOフォローアップブース」を利用していた団体や過去にブースを利用していた団体の復活利用が2団体あった。また、2013年3月末の閉館を見据えて新拠点を探す団体が増えており、7団体がブースを退出した。2階NPO支援フロア入居団体も、新拠点が見つかった1団体が事務所を退出した。12年3月末時点で、NPO多機能ブーススペースの空きブースは、Mブースが4つ、Lブースが2つ、またNPO支援フロアの空き室は1室となっている。

#### 【NPO支援フロア入居団体】全7団体

100号室	(社福)大阪ボランティア協会
201号室	(特活)大阪NPOセンター
203号室	(特活)ちゃいるどネット大阪[~2011年12月] 空き事務所[2012年1月~]
204号室	(特活)福祉活動と福祉教育の推進協会あすなろ
205号室	(特活)日本病院ボランティア協会
206号室	(特活)シニア自然大学校
207号室	(特活)関西こども文化協会

#### 【NPO多機能ブーススペース利用団体】M：24団体、L：3団体（入替あり）

101号室	NPO支援ブース	(特活)キャンピズ
102号室		空きブース
103号室	ソフト活用ブース	(特活)環境技術支援協会
104号室	ソフト活用ブース	(特活)福祉サービス評価WACCH
105号室	ソフト活用ブース	ベーチェット病友の会大阪府支部
106号室	ソフト活用ブース	(特活)遺族支え愛ネット
107号室	ハード活用ブース	大阪がん医療の向上をめざす会
108号室	ソフト活用ブース	(特活)発達障害をもつ大人の会
109号室	ソフト活用ブース	関西音声サポート
110号室	ソフト活用ブース	(特活)地域情報化推進機構
111号室	ハード活用ブース	(特活)不動産消費者保護支援機構
112号室	NPO支援ブース	(特活)NPO政策研究所
113号室	ソフト活用ブース	創作サポートセンター
114号室	NPOトライアルブース	日本家族・子どもケア研究会[~2011年9月] 空きブース[2011年10月~2012年1月]
	ソフト活用ブース	(特活)地球コード研究会[2012年2月~] ※復活利用
115号室	ソフト活用ブース	True Colors[~2012年1月] 空きブース[2012年2月~]
	ソフト活用ブース	(特活)スマートらいふネット
117号室	ソフト活用ブース	(特活)GIS総合研究所[~2011年11月] 空きブース[2011年12月]

	NPOトライアルブース	アップデートジャパン[2012年1月～]
118号室	ソフト活用ブース	患者の権利オンブズマン関西
119号室	ソフト活用ブース	(特活)みどり大阪
120号室	ハード活用ブース	(特活)大阪市計量協会
121号室	ソフト活用ブース	(特活)国際文化財研究センター[～2011年11月] 空きブース[2011年12月～]
122号室	NPOトライアルブース ソフト活用ブース	(特活)日本愛護クラブ[～2011年10月] 空きブース[2011年11月] (特活)地球環境大学[2011年12月～] ※復活利用
123号室	ソフト活用ブース	住みよいまち&絆研究所[～2012年1月] 空きブース[2012年2月～]
124号室	ハード活用ブース	(特活)消費者相談センター
131号室		空きブース
132号室	ソフト活用ブース	(特活)NICE日本国際ワークキャンプセンター[～2011年8月] 空きブース[2011年9月～]
133号室	ソフト活用ブース	園芸療法研究会西日本

## 【NPOフォローアップブース利用団体】全1団体

141号室	フォローアップブース	(特活)地球環境大学[～2011年11月] ※多機能ブースを復活利用
-------	------------	------------------------------------

## 2. 大阪NPOプラザで実施された様々な動き

NPO支援の拠点として2011年度に実施した取り組みは次の通りである。

### （1）ONPの自治的運営に関わる取り組み（ONP運営協議会）

ONPの運営を入居・利用団体とともに考える場として「ONP運営協議会」を開催した。

主な議題は、経営状況/2012年4月以降の行く末について/12年度の運営体制・スケジュールなど/節電の協力をお願いなど。特に、大阪NPOプラザの閉館後について、大阪府との協議の状況などを報告・意見交換などを行った。

○第26回 開催日：2011年8月31日（水） 参加者：23人（20団体）

○第27回 開催日：2011年10月19日（水） 参加者：17人（13団体）

※ 大掃除と交流会を2011年12月19日（月）に開催。団体間の交流の場とした。

※ 消防訓練を入居利用団体の協力を得て、2012年3月14日（水）に実施した。

### （2）ONP評価研究委員会

NPO支援機能をもった団体の選定・評価機関として07年度より設置。11年度は、NPO支援フロア入居団体の新規入居がなかったため、開催しなかった。

○委員：近畿大学 吉田忠彦、(特活)市民活動フォーラムみのお 須貝昭子、大阪ボランティア協会 永井美佳

### （3）ONPインキュベーション研究会

NPO多機能ブースのソフト活用ブース団体の審査・評価機関として07年度より設置。トライアルブース利用団体で2年度目以降の継続を希望する団体を対象とした継続審査、「ONPサポートプログラム」によるサポートの支援や事業進捗ヒヤリングでのアドバイスを行った。

○アドバイザー：(特活)しがNPOセンター 阿部圭宏、大阪ボランティア協会 永井美佳

○第16回 開催日：2011年8月30日（火） 内容：2年度目継続利用審査（3団体）

○第17回 開催日：2011年11月29日（火） 内容：2年度目継続利用審査（3団体）

○第18回 開催日：2012年3月7日（水） 内容：事業進捗ヒヤリング（12団体）

## 【ONPサポートプログラム】

NPO多機能ブースのソフト活用ブース団体に、NPO支援機能をもつ団体から選出されたサポーターを担当として配置し、事業や運営面で必要なアドバイスや支援メニューの紹介、必要な社会資源とのコーディネートなどを行うことで団体運営を側面から応援するプログラムとして、07年度から開始した。

11年度は8人のサポーターがソフト活用ブース12団体のサポートを行った。

号数	団体名	サポーター名
102号	(特活)環境技術支援協会	水流 寛二(特活) キャンピズ
104号	(特活)福祉サービス評価WACCH	江渕 桂子(社福) 大阪ボランティア協会
105号	ベテラン病友の会大阪府支部	江渕 桂子(社福) 大阪ボランティア協会
106号	(特活)遺族支え愛ネット	白井 恭子(社福) 大阪ボランティア協会
108号	(特活)発達障害をもつ大人の会	堀野 亘求(特活) 大阪NPOセンター
109号	関西音声サポート	梅田 純平(社福) 大阪ボランティア協会
110号	(特活)地域情報化推進機構	江渕 桂子(社福) 大阪ボランティア協会
113号	創作サポートセンター	影浦 弘司(社福) 大阪ボランティア協会
116号	(特活)スマートらいふネット	柳瀬真佐子(特活) 関西こども文化協会
118号	患者の権利オンブズマン関西	江渕 桂子(社福) 大阪ボランティア協会
119号	(特活)みどり大阪	金治 宏(社福) 大阪ボランティア協会
133号	園芸療法研究会西日本	影浦 弘司(社福) 大阪ボランティア協会

## 3. 大阪NPOプラザの全体的利用状況

### (1) NPO多機能ブーススペース

NPO多機能ブーススペースでは、独立した事務所機能が必要なNPOに貸ブースを提供。2012年3月末での利用数は、Mブース20団体（空き4）、Lブース1団体（空き2）だった。また、ブースの種別は、NPO支援ブース2団体、ソフト活用ブース14団体、ハード活用ブース4団体、トライアルブース1団体となっている。

ブース各月利用団体数状況（のべ利用日数は1,840日 ※一部利用実績未提出の団体があるため暫定数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用団体数	25	25	25	25	25	24	23	22	21	22	21	21
内、退出数	0	0	0	0	1	1	1	2	0	2	0	0
内、新規利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
空き数	2	2	2	2	2	3	4	5	6	5	6	6

### (2) NPO支援フロア

NPO支援や連携促進を進めるNPO支援機能を持った団体が入居。各団体での事業を進めるとともに、ONP運営に関しては、ONPサポートプログラムなどについて協力して取り組んだ。12月末で203号を利用していた「(特活)ちゃいんどネット大阪」が退出したため、2012年3月末での利用数は6団体（空き1室）となっている。

### (3) 情報交流スペース、NPOワークステーションなどの利用状況

市民が気軽に立寄り、情報を得られることもONPの重要な機能の一つである。ONPにはNPOに関するイベント情報やニュースレターを入手にできる「情報交流スペース」、2003年度に開設した「ボランティア・市民活動ライブラリー」がある。ONPに届いた広報依頼件数などの詳細は第1章の「広報依頼」でも報告している。加えて、NPOワークステーションでは、印刷機（2台）や紙折機（2台）、利用登録団体向けに貸ロッカーと貸レターケースの提供も行っている。

- ・印刷機・紙折機利用回数 879件（2010年度823件）
- ・貸ロッカー 51件（2010年度49件）
- ・貸レターケース 8件（2010年度6件）



大人気のクッキー。完売続出！

#### （４）パレットカフェの実施

ONPでは交流事業の一環として情報交流スペースの活性化、およびONP利用者の交流を目的に「パレットカフェ」を開催している。

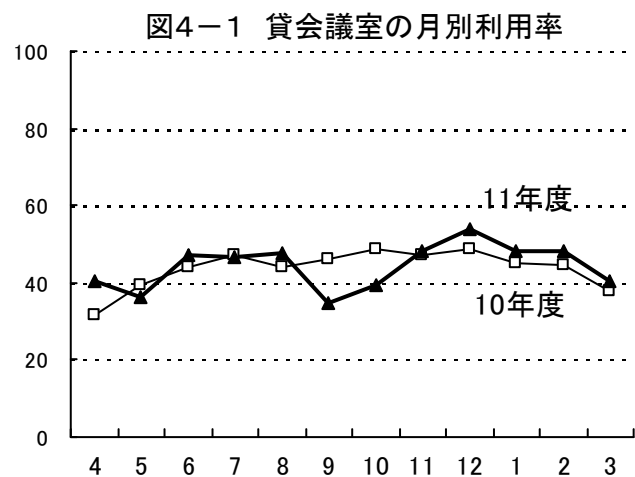
11年度は、平日カフェを1回、休日カフェを9回開催し、ONP利用者や、連携イベント参加者への飲み物の提供を行なった。また、カフェマスターが開催報告を書き、事務局が「スタッフブログ」にアップする取り組みも積極的に行なった（7回分）。また、（福）水仙福祉会が運営する「風の子育ち園」を通じて、「風のとも西淀川」のクッキーを仕入れて、販売支援を行った。

#### （５）ONP利用登録団体

11年度の新規登録団体は34団体であった。

#### （６）貸会議室（図4-1）

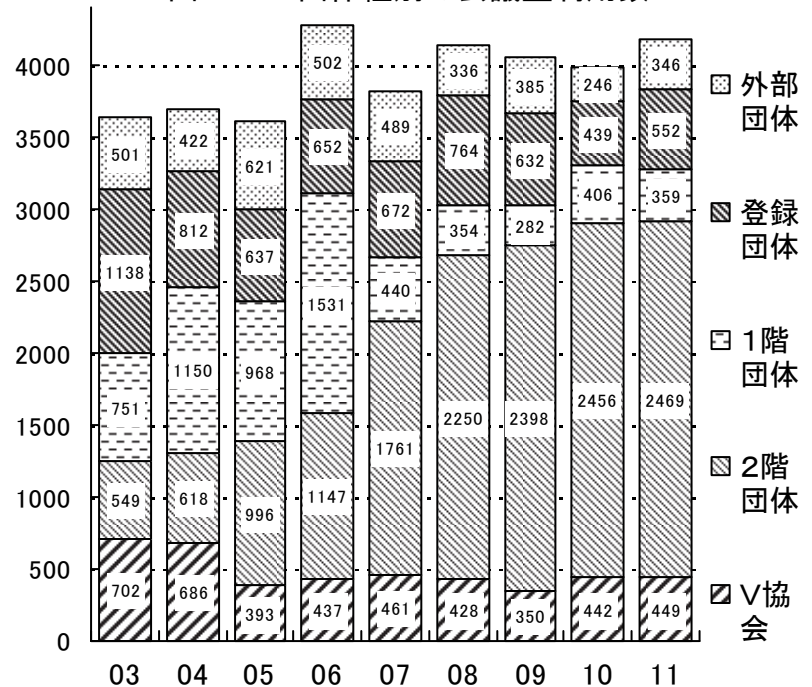
貸会議室貸出はNPO支援メニューの一つであるとともに、大阪NPOプラザの自主財源の一つでもある。本年度は9月・10月に利用が大幅に落ち込んだものの、年間平均としての利用率は44.5%（2010年度43.7%）と好調な結果となった。



#### 団体種別利用数（図4-2）

11年度も支援フロアやブース利用団体の利用が多く、両者で全利用件数の68%を占めた。外部団体の利用は全体の10%に満たないが、利用料金が登録団体や入居利用団体より割高であるため、貴重な収入源となっている。

図4-2 団体種別の会議室利用数



## 4. 大阪NPOプラザの経営状況

2011年度は、計画よりもやや下回る実績となったものの、前述のとおり一定の成果を出すことができた。

11年度は、ONPが終了するのか延長するのかが半年間も不確定だったため、1階NPO多機能ブースも2階のNPO支援フロアも辛めの試算で運営してきたが、結果的には計画を上回る実績となった。一方で、貸し会議室等の実績は9月・10月に不調で心配だったが、11月以降は挽回し、計画に近づく形で持ち直すことができた。

財政面では、ONP最終年度に備えて、2011年度は修繕積立金の取り崩しは行わなかったため、本部会計への繰入金はマイナスが発生している（第9章で詳しく分析している）。

12年度は、ONP運営の最終年度につき、関係者とともにONP11年間の総括を行う予定だ。協会では、大阪における民間の市民活動・NPO総合拠点のあり方について検討し、次の拠点づくりを進めていきたい。